

令和7年度

花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

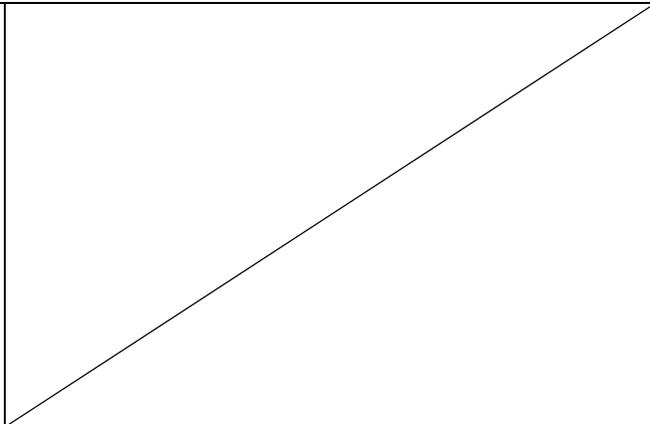
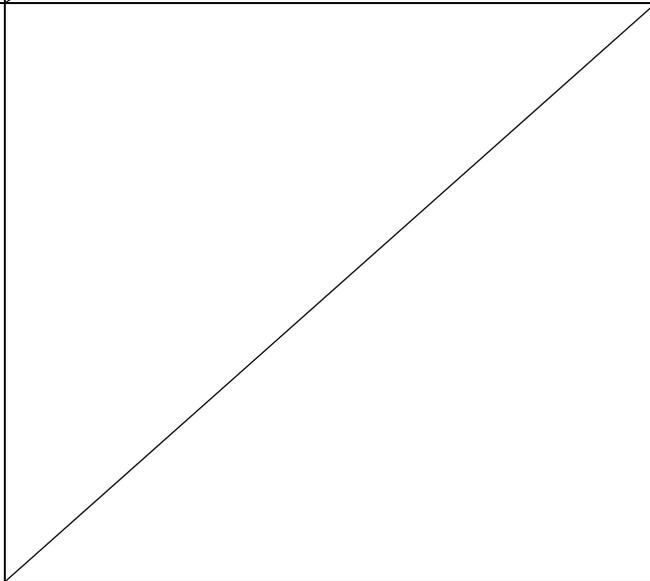
令和7年12月 花巻市

目 次

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会	ページ
1-2 商工業の振興	1 魅力ある商業地域の形成	しごと	1
1-3 観光の振興	2 観光情報の発信		4
3-1 健康づくりの推進	1 健康づくりの支援	暮らし・ 健康・いのち	8
3-3 地域防災力の向上	1 危機管理体制の強化		11
4-1 子育て環境の充実	3 就学前教育の充実	子育て・ 人づくり・ 地域づくり	13
5-2 移住定住の推進	2 移住者と地域との交流の場等の創出		16
行政評価の改善に関する提言			18

施策No.1-2-1 「魅力ある商業地域の形成」

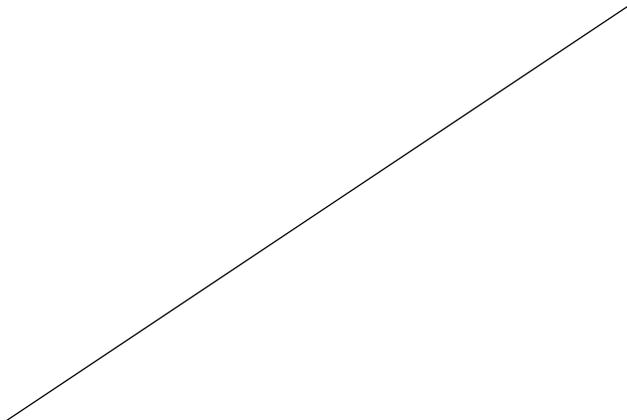
評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 機能している。 • 昨年度評価時の今後の方向性に関して、①地域内の小売店の魅力発信を図りながら市内での買い物に対する満足の割合の増加を図ることや、買い物困難地域への支援を行うこと、②新規創業希望者の出店需要の高い物件とのマッチング、花巻中央広場の公共空間の利活用について支援していくこと、③大迫地域における「花巻市大迫町仲町地区整備計画」掲載事業を推進すること、④石鳥谷地域における「小さな百貨店ぷらっと」「まちの駅いしどりや酒蔵交流館」を活用していくこと、⑤東和地域における「アートのまち365」に基づくまちづくり支援を行うことが示された。 • 前項への反映状況として、①移動スーパー「とくし丸」の継承店舗との連携を行ったこと、②5件の創業支援があり、公共空間利活用のための社会実験を実施したこと、③「大迫地域まちなみ整備事業推進委員会」に名称変更し、事業推進主体として事業を推進することとしたこと、④「小さな百貨店ぷらっと」を活用した高校生によるチャレンジショップや中心商店街における新たな賑わいづくり事業（「にぎわいフェスタ」など）へ支援をしたこと、⑤商店街での作品の展示、東和学童クラブの万国旗づくりへの支援を実施したことが挙げられた。 		

<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に行われている。 ・成果指標「日常の買い物を市内で行う市民の割合」は、市民アンケートの結果をもとに測定しており、昨年度より0.4%減少し目標値を下回り、達成度はb。20代と40代において85%を下回ったことが要因として分析できている。 ・成果指標「市街地への新規出店者数」は5店が開業し、達成度はa。中心市街地でのリノベーションまちづくりの認知度の高まりや、まちなか創業支援事業補助金の活用、開業希望者への相談体制が充実したことが背景にあることが分析できている。 		
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に行われている。 ・「商店街賑わいづくり事業費」は、コロナ禍の影響が依然として続いており、イベント計画件数、来街者数も減少のため、成果はC。 ・「商店街利便性向上事業費」は、市街地における一日あたりにおける歩行者数は概ね目標値どおりであったため、成果はB。 ・「商店街景観形成事業費」は、前述の理由と同じく、成果はB。 ・「リノベーションまちづくり推進事業費」は、リノベーションに関するシンポジウム参加者数の増加などにより、成果はA。 ・いずれの事務事業も事務事業評価シートが作成されており、その中で、「今年度振り返り」と「次年度に向けて」について適切に記入されている。 		
<p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に行われている。 ・今後の課題として、①市内全域でリノベーションまちづくりへの支援、商店街における新規事業者の呼び込み、事業継承支援が必要であること、②上町商店街のアーケードの根本的解決が求められること、 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のありました課題①における「事業継承支援の必要性」に対する具体的な方針として、事業を継承するだけでなく、閉店した店舗と業態を変更し操業する事業者を呼び込む意味も含め、今後の方向性①には「まちなかへの新たな事業者の呼び込みを 	<p>商工観光部 商工労政課</p>

	<p>③～⑤大迫地域、石鳥谷地域、東和地域の地域の特色を生かした中心商店街の活性化に向けた支援が必要であることが挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今後の方向性に関しては、①特に、民間主導の花巻中央広場の公共空間の利活用を進め、その利用調整を図る民間団体の設立の支援をすること、②アーケード修繕または撤去を決定していただくための支援をすること、③～⑤これまでの事業を継続して中心商店街の活性化を図ることが挙げられている。 • ただし、課題の①で挙げられている事業継承支援の必要性については、今後の方向性の中で触れられていないため、具体的な方針が記載されると良い。また、既存事業者への支援についても記載されていることが望ましい。 	<p>図る」と記載しております。また、「既存事業者への支援」につきましては、花巻・大迫・石鳥谷・東和の各地域の活性化を図る取組が各地域を構成する既存事業者への「支援」にもつながると考え、今後の方向性①～⑤のとおり記載しております。なお、市内中小事業者への個別の人材確保や販路拡大などに対する具体的な支援制度につきましては「施策No.1-2-2 技術力・経営力の向上」などにおいて実施しております。</p> <p>次年度以降は、よりわかりやすい表現となるよう努めてまいります。</p>	
<p>●シート記載内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 評価シート全体の記載はわかりやすく、特に問題はないが、「施策の目指す姿の実現に向けた主な取組」で記載されている「対象店舗を市内事業者としたPayPayキャンペーンの実施」に関しては、その実績や経済効果を明示したほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> • ご指摘の点を踏まえ、物価・燃料費高騰対策（PayPay キャンペーン）で実施した取組内容については、実績や効果等を明示するよう対応いたします。 	<p>商工観光部 商工労政課</p>

施策No.1-3-2「観光情報の発信」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機能している。 ・前年度評価時の今後の方向性に関して、①花巻観光協会のホームページアクセス件数についてSEO対策（検索エンジンにおいて特定のキーワードを検索した際に、Webサイトが上位に表示されることを目指す施策）により増加を図ること、②外国人観光客に花巻の魅力や必要な情報を提供し、旅行需要を捉えられるよう花巻観光協会のホームページのリニューアルを支援すること、③花巻観光協会の取組を充実させるために事務局の人的体制整備を支援すること、④SNSでの情報発信ではターゲットを絞った情報発信を行い誘客につなげることに、⑤ロケ経費補助の拡充をPRし、ロケ誘致の促進を図ることが示された。 ・前項への反映状況として、①引き続きホームページのSEO対策を実施したこと、②花巻観光協会の多言語表示（英語、繁体字、簡体字、タイ語）改修費用を支援し、情報をタイムリーに更新したこと、③誘客担当職員1名増員に向け補助金を増額し、人的体制整備を支援したこと、④国内外観光客向けにSNSを活用した発信を行ったほか、台湾及び香港からの個人旅行者向け情報サイトに旅行情報を掲載したこと、⑤ロケ経費補助の1件あたりの上限を150万円に増額したことが奏功し、市内で1件（おいしい給食 炎の修学旅行）の映画撮影が行われたこと、が挙げられている。 		

<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に行われている。 ・成果指標「花巻観光協会ホームページのアクセス件数」は、花巻観光協会のデジタルマーケティングの専門人材の指導を生かして SEO 対策を実施するも、161.4 万件で、目標値の 96%にとどまり達成度は b。 ・成果指標「訪日外国人観光客入込数」は、目標値 5.4 万人に対して実績値が 8.2 万人と目標値を上回り、達成度は a。団体旅行貸切バスツアー運行支援により、台湾、香港からの団体旅行が増加したことが要因であると分析できている。 		
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に行われている。 ・「観光情報発信事業費」は、ホームページ閲覧件数は増加したものの目標値の 96%にとどまったため、成果は B。 ・「外国人観光客誘致促進事業費」は、その要因として、令和 6 年度のインバウンドが過去最高となったことによる花巻を訪問する観光客の増加、また、タイの首都バンコクでのトップセールスの実施、海外旅行会社の招へい事業、花巻駅等への Wi-Fi の整備により、成果は A。 ・「地域観光資源活用促進事業費」は、市内の宿泊施設が出演者の宿泊場所として利用され、ロケ誘致支援事業補助金開始以来初めての活用事例となり、成果は A。 ・いずれの事務事業も事務事業評価シートが作成されており、その中で、「今年度の振り返り」と「次年度に向けて」について適切に記入されている。 ・「新たに取り組むべき事業はないか」に「なし」と記入されているが、施策評価シートの現状と課題において、「SDGs について学ぶ教育旅行」、「ロケ地 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新たにに取り組むべき事業」につきましては、現在の施策における不足を補完する事業や新たな課題に対応するために実施すべき事業内容を記載するものです。 ご指摘いただきました「SDGs について学ぶ教育旅行」の誘致促進、「ロケ地誘致及びロケ後の効果を市内に波及させる取組」につきましては、施策評価シートの「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組」の(4)及び(5)に記載のとおり、既に取り組を実施していることから、「新たにに取り組むべき事業」としては記載しておりませんでした。次年度以降、当該取組を進める中で、施策における不足を補完、または新たな課題への対応が必要となった際に記載してまいります。 ・新しい観光資源の PR については、既に市が作成した観光パンフレットなどで紹介しておりますほか、市内のその他の観光情報とともに一般社団法人花巻観光協会のホームページに集約して発信しております。 このように既に取り組を実施しているものについて 	<p>商工観光部 観光課</p>

	<p>誘致及びロケ後の効果を市内に波及させる取組」について指摘されているため、記載が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「さらに成果の向上を図る事業」として記載されている「観光情報発信事業費」に、新しい観光資源（花巻ゆかりのメジャーリーガー記念モニュメントなど）のPRが必要と考える。 	<p>は、施策評価シートの「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組」欄に記載しておりますが、次年度以降、「さらに成果の向上を図る事業」が必要であると判断した場合は、その旨を当該欄に記載するようにいたします。</p>	
<p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 的確に行われている。 今後の課題として、①花巻観光協会のホームページの継続的な改善が必要であること、②旅行形態の変化に対応した適切な情報の発信が必要であること、③インバウンド対応として花巻観光協会のホームページの多言語化による情報発信の強化が必要であることが挙げられた。 今後の方向性に関しては、①花巻観光協会には引き続きSEO対策の強化を求めていくこと、②SNSでの情報発信は効果的であるので、ターゲットを絞った情報発信を行うこと、③花巻観光協会の外国人向けホームページの運用を支援することが挙げられている。 施策評価シートの現状と課題で指摘されている「SDGsについて学ぶ教育旅行」、「ロケ地誘致及びロケ後の効果を市内に波及させる取組」について、ヒアリング時はこれらに関する事務事業は別の施策に紐づけられているため記載しなかったと説明があったが、評価シートのキーワードの一つである「ターゲットを絞った情報発信」を、ターゲットごとに適した情報発信と捉えると、団体旅行や個人旅行向けの情報発信のほか、SDGsを学ぶ教育旅行やロケ地誘致に関する情報発信も含めることができ、施策の実態と合致するため、「SDGsについて学ぶ教育旅行」、「ロケ地誘致及びロケ後の効果を 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘いただきました「SDGsについて学ぶ教育旅行」、「ロケ地誘致及びロケ後の効果を市内に波及させる取組」につきましては、次年度以降、当該取り組みを進める中で、新たな課題が生じた場合は、施策評価シートの「5 施策の総合的な評価」欄の「課題」欄及び「今後の方向性」欄に記載してまいります。 	<p>商工観光部 観光課</p>

	市内に波及させる取組」について記載した方が良いと考える。		
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シート全体の記載はわかりやすい。また、SEO 対策などの専門用語も評価シート上で解説されていたことは良い。 		

施策No.3-1-1「健康づくりの支援」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<p>・機能している。なお、歯周病健診の対象者に20歳、30歳が組み込まれたことの情報発信をどのような媒体で行なったかが記載されているとわかりやすい。</p>	<p>・ご指摘を踏まえ、次年度の評価においては、情報発信を行った媒体を明確にするなど具体的に記載するよう努めてまいります。</p> <p>なお、歯周病予防検診の対象者に新たに20歳および30歳が追加されたことについては、市ホームページ、SNS、FMはなまき等を通じて情報発信を行い、周知を図っております。</p>	<p>健康こども部 健康づくり課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>・概ね的確に行われている。なお、分析において、目標達成に至らなかった背景としてライフスタイルや食習慣の変化が推測されているが、これはあくまで背景であるため、なぜ変化が生じたのかという要因について記載があることが、よりの確な分析に繋がると考えられる。</p>	<p>・ご指摘を踏まえ、次年度の評価においては、さらなる情報収集を通じて適切な分析を行い、想定される要因を記載できるよう努めてまいります。</p> <p>なお、ご指摘のあった要因について、令和6年度食育推進施策（食育白書）「食育に関する意識調査」（農林水産省2024年11月実施）による分析では、物価の高騰を背景に、ライフスタイルにおいて食費の節約を重視する傾向が高まっていることが確認されました。また、食習慣に関しては、単身世帯の増加や女性の社会進出に伴い、仕事や家事、育児などで忙しい状況に対応するため、市販食品の利用や外食などによって食にかかる手間を減らす「食の外部化」や「簡便化」が進んでいる状況が推察されました。</p>	<p>健康こども部 健康づくり課</p>
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<p>・「①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業」および「新たに取り組むべき事業」についての記述が「なし」のみとなっているが、その根拠を記載すべきである。</p>	<p>・「施策を構成する事務事業の検証」については、施策を構成する事務事業ごとに実施した事務事業評価結果に基づき検証することとしており、「①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業」につきましては、費用対効果、市民ニーズや社会情勢の変化に対応し、改廃すべき事業内容</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>

		<p>を記載することとしております。また、「新たに取り組むべき事業」につきましては、既存の事務事業だけでは不十分な場合に記載するものです。</p> <p>当該箇所の記載方法については、記載要領において、該当がない場合は「なし」とのみ記載することとしておりましたが、ご指摘のとおり、その根拠を記載することで、検討経過等を明確にお示しすることができると考えられますことから、次年度以降、「なし」とする場合は、その根拠を記載するよう改善いたします。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 「さらに成果の向上を図る事業」のうちの健康診査事業について、かかりつけ医からの受診勧奨のことも記載されているとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医からの受診勧奨については、施策を構成する事務事業の一つである「国保制度健全運営事業(特定健康診査)」において従前より継続的に行っており、「さらに成果の向上を図る事業」としては記載していないものです。 次年度以降、施策における取り組み内容がより分かりやすいものとなるよう「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組」欄等で具体的な記載に努めてまいります。 	健康こども部 健康づくり課
「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 概ね的確に行われている。一方で、改善は認められるものの、検証結果に基づく具体的な施策への展開が不十分であり、今後の拡充が求められる。例えば、予防接種における今後の方向性として、「正しい知識の普及啓発」と記述されているが、どのような知識を指すのかが不明確である。今後は、予防接種の効果と副反応、手洗いの方法、感染経路など、より具体的な項目を明記することで、施策の有効性を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえ、次年度の評価においては、これまでの検証結果をもとに、具体的な施策展開の方針を記載内容に反映させるよう努めてまいります。 なお、予防接種や感染症に関する正しい知識の普及啓発のため、市では定期接種および助成対象となる任意接種について、予診票送付時に効果、副反応、感染経路などを説明した資料を同封しております。 さらに、県内で罹患者が増加している感染症については、岩手県感染症情報センターのホームページへのリンクを活用し、流行状況を随時お知らせすることで注意喚起を進めております。 	健康こども部 健康づくり課

<p>●シート記載内容全般について</p>	<p>・成果指標の欄について、評価対象年度以前の値が空欄になっているが、経年のトレンドを把握するためにも併記する方が良いと思われる。</p>	<p>・今回の施策評価は、令和 6 年度から令和 13 年度までを計画期間とする「第 2 次花巻市まちづくり総合計画」の初年度に該当するため、前総合計画の期間である令和 5 年度以前の数値は掲載しておりませんが、次年度以降は、前年度の数値が順次記載されていくため、その経過を把握することが可能となります。</p> <p>なお、今後評価を行う際に、参考として施策評価シートに示されていない過去の実績数値等が必要な場合は、適宜、補足資料として提供させていただきます。</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>
-----------------------	--	---	------------------------

施策No.3-3-1 「危機管理体制の強化」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<p>・機能している。自主防災組織の未結成地区への働きかけについて、結成に至らなかったものの、その明確な理由（「行政の役割」「入居者の入れ替わり」と、一定の進捗（総会での議題化、防災士会の結成）が具体的に報告されている。そのほか、被災者支援、住宅支援、備蓄指針の策定についても、計画通り実施されたことがわかる。特に、備蓄指針については能登半島地震の実例を踏まえた見直しが行われており、社会情勢の変化に機敏に対応している点が評価できる。</p>	/	
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>・的確に行われている。避難場所を把握している市民の割合について、「20歳代～30歳代の把握が比較的少ない」と課題のある層を特定できている点は、次の対策に繋がる分析であると評価する。</p>	/	
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<p>・概ね的確に行われている。「さらに成果の向上を図る事業」として、自主防災アドバイザーの増員や、若年層へのアプローチとしてSNSの活用を挙げるなど、具体的な改善策が示されている。特にSNSの活用は、成果指標の分析（若年層の把握率が低い）に直結している。ただし、「新たに取り組むべき事業」が「なし」となっている点は議論の余地がある。既存事業の改善に注力するという判断も考えられるが、いずれにせよ、その根拠を記載すべきである。</p>	<p>・「施策を構成する事務事業の検証」については、施策を構成する事務事業ごとに実施した事務事業評価結果に基づき検証することとしており、「新たに取り組むべき事業」につきましては、既存の事務事業だけでは不十分な場合に記載することとしております。</p> <p>当該箇所の記載方法については、記載要領において、該当がない場合は「なし」とのみ記載することとしておりましたが、ご指摘のとおり、その根拠を記載することで、検討経過等を明確にお示しすることができると考えられますことから、次年度以降、「なし」とする場合は、その根拠を記載するよう改善いたします。</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>

<p>「5 施策の総合的な評価」が 的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に行われている。課題と方向性の対応関係が明確であると評価する。 		
<p>●シート記載内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の欄について、評価対象年度以前の値が空欄になっているが、経年のトレンドを把握するためにも併記する方が良いと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の施策評価は、令和6年度から令和13年度までを計画期間とする「第2次花巻市まちづくり総合計画」の初年度に該当するため、前総合計画の期間である令和5年度以前の数値は掲載しておりませんが、次年度以降は、前年度の数値が順次記載されていくため、その経過を把握することが可能となります。 なお、今後評価を行う際に、参考として施策評価シートに示されていない過去の実績数値等が必要な場合は、適宜、補足資料として提供いたします。 	<p>総合政策部 秘書政策課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難の際にサポートが必要な人への配慮がより明確に記載されているとなおよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、「施策を構成する事務事業一覧」の事業内容欄において、避難行動要支援者の避難支援体制について明確に記載するよう改善に努めてまいります。 	<p>地域振興部 防災危機管理課</p>

施策No.4-1-3 「就学前教育の充実」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 施策を構成する事務事業の評価が低いにもかかわらず、総合評価がAになっているものがあるなど、建付け上仕方ない面もあるが、一見すると分かりにくいところがあり、施策の整理が必要とされる。 • また、現状の把握については現場教員へのアンケートを通じて行っているが、アンケートだけでなく既存の指標の活用等も行われるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> • 施策評価については、昨年度までは、施策の成果指標の達成度のみで評価しておりましたが、今年度からは、「施策を構成する事務事業全体の評価」を加味した「総合評価」とするよう見直しを行いました。見直し後の評価の判定基準については、第1回花巻市行政評価委員会において、委員の皆様へ判定基準を記載した「施策評価シートの記載要領」を配付の上、その内容についてご説明をしておりましたが、見直し後の初年度ということもあり、わかりにくい面があったものと認識しております。次年度以降についても、行政評価委員会の場において、委員の皆様へ新たな判定基準について丁寧な説明を心掛けるとともに、行政評価の結果をホームページで公開する際には、施策評価シートの評価の判定基準について説明した資料を併せて掲載するなど、わかりやすい行政評価とするために必要な対応を行ってまいります。 • ご指摘のとおり、既存の指標を活用することで現状をより客観的に把握できると考えます。そのため、既存指標の活用方法について検討を進めるとともに、成果指標の適切な設定についても検討して参ります。 	<p>総合政策部 秘書政策課</p> <p>教育部 就学前教育課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 現状の把握について、他の部局と連携し、現場の状況をより子細に把握することが求められている。また、ニーズの把握を新しい事業に繋げられるような議論が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> • ご指摘を踏まえ、他部局との連携を強化し、定期的な情報共有や現場の実態調査を行うことで、ニーズの正確な把握に努めてまいります。また、把握したニーズを基に、新たな事業の実施について、その必要性を慎重に検討いたします。 	<p>教育部 就学前教育課</p>

<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の待遇改善や、幼稚園・認定こども園の充実等において、評価指標の取り方に改善の余地がある。保育士のおかれている待遇に関する実態調査などが行われるのが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえ、保育及び幼児教育の充実に向けて、実態調査等の実施を検討するとともに、その成果を測定するための指標の設定についても検討してまいります。 なお、保育士の処遇改善について、私立認可保育施設又は私立幼稚園に常勤で勤務する保育士等に対して、家賃補助や奨学金返済などの支援を行っているほか、公定価格に包含されている処遇改善等加算を給付しており、当該加算が保育士等の賃上げに充当されているかを毎年確認するなど、処遇の実態把握を行い、対応しております。 	<p>教育部 就学前教育課</p> <p>健康こども部 こども課</p>
<p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査に依拠しているため、昨年度等と比べると指標が大きく変わっていることが目立つ。素直に受け取るなら、現状打ち出しているこれまでの事業に効果がないということになるが、たった数年で状況が大きく変わるとも考えづらく、担当課でも数字の解釈に苦慮している。教育や保育の専門家を招聘し、具体的な助言などを得るべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、アンケート調査結果に基づく指標の変化については、現場の状況や事業の成果を踏まえ、慎重に検討する必要があると認識しております。 今後は、教育や保育の専門家から具体的な助言を受けつつ、適切な指標について検討してまいります。 	<p>教育部 就学前教育課</p>
<p>●シート記載内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハードの整備事業については指標を設定せずに進めているが、それをもってして施策全体の善し悪しを決めてしまうという今のシートの作りには若干の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 本施策を構成する事務事業のうち、ハード整備事業に該当するものは「幼稚園教育環境充実事業」と「保育所保育環境充実事業」となっています。 このような各施設の維持管理を目的とした継続的なハード整備に関する事務事業については、事業内容や事業費を明確にするため、関連するソフト事業とは分けて、単独の事務事業として設定しており、成果指標として想定されるハード整備後の利用状況や各種ソフト事業の展開状況等を当該事務事業の中で管理・評価していくことが難しいと判断される場合は、成果指標を設定していない場合があります。 一方、事務事業の上位に位置する施策の評価におい 	<p>総合政策部 秘書政策課</p>

		<p>ては、当該施策を構成する事務事業（ハード整備事業を含む）が当該事業の目指す姿の実現にどのように貢献したかも含めて評価を行うこととしていることから、ハード整備事業に関する事務事業の成果については、その中で評価していくものと考えております。</p>	
--	--	---	--

施策No.5-2-2 「移住者と地域との交流の場等の創出」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<p>・前年度の振り返りについては、一定程度のクオリティで行われている。ただし、現状はルーティンワークとして前年度の事業を単に続けているだけの面も否めず、事業のスクラップ・アンド・ビルドの観点も踏まえた取り組みがなされるのが望ましい。</p>	<p>・ご指摘を踏まえ、各事業の結果に至った要因を詳細に分析し、事業の継続・改善・廃止について慎重に検討してまいります。</p>	<p>地域振興部 定住推進課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>・概ね的確に行われている。移住者数に関する指標が必要と考えるが、指標の変更が難しいのであれば参考として記載すると良いのではないかと。外国人の数などを含めた現状のデータの把握を、他の部局とより密接に連携して行うことが望ましい。</p>	<p>・ご指摘のとおり、本施策の評価にあたっては、移住者の状況を踏まえた分析・評価の視点が必要であると認識しております。 次年度以降、移住者数をはじめ、外国人を含む人口動態等について関係部署と情報共有しながら、それに基づいた施策の評価に取り組んでまいります。</p>	<p>地域振興部 定住推進課</p>
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<p>・事業が移住に対してどの程度の影響を及ぼしているかの因果関係を厳密に把握するのはかなり難しい。総合計画に設定されている指標の関係もあるが、「アウトプット」（ある行動の結果生じる数字）と「アウトカム」（事業によって生まれた成果）の違いが不明瞭な面があるなど、事業の検証に用いるデータの選別や取り扱いについて、改善の余地がある。</p>	<p>・本施策の成果指標の設定に当たり、関係団体と意見交換を行った際、定住には地元住民とのコミュニケーションが不可欠であると意見をいただいたことから、令和5年度より地域住民と移住者の交流会を開催し、その参加者数をもって施策の効果を測ろうとしたものです。しかし、ご指摘のとおり、交流会の参加者数はアウトプット指標に該当するものであるため、次年度以降につきましては、移住支援制度を活用して移住した方へアンケート調査を行い、移住者の定住率を測定するなど、アウトカム数値の測定手法について検討してまいります。</p>	<p>地域振興部 定住推進課</p>

<p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業にフォーカスを当てている以上やむを得ない面もあるが、やはり個々の部局に対応した事業しか見れていない問題がある。特に移住政策のような、他の部局の行っている事業が関係している分野については、横断的に事業の効果を検討し、検証する必要がある。簡単ではないが、関係部局との連携を強化し、効果的な事業の立案並びに検証に取り組んでいくのが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、評価を行う際には、関係部局の評価も参考にするなど、関係部局と連携を図りながら、評価するよう努めてまいります。 	<p>地域振興部 定住推進課</p>
<p>●シート記載内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個々のシートそのものの記載は妥当だが、指摘したようなセクショナリズムの問題などがある点を指摘する。 		

行政評価全般

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
行政評価の改善に関する提言	<p>• 施策評価シートの作成に当たって、アウトプット(ある行動の結果生じる数字＝活動指標)とアウトカム(事業によって生まれた成果＝成果指標)の違いが不明瞭なものが見受けられる。施策によってはアウトカムが測りにくく、アウトプットにより分析を行っているものもあると思うが、その違いを意識した上で、評価・検証を行ってほしい。</p> <p>• 施策を構成する事務事業全体の評価が低いのに施策の総合評価は良い評価となっているなど、その判断基準が分かりにくいものがある。情報公開の際には、施策評価シートを初めて見る市民にとっても分かりやすいものとなるよう、施策評価シートの見方についての補足説明のようなものがあると良い。</p>	<p>• 第2次花巻市まちづくり総合計画前期アクションプランでは、施策の効果を検証するために、各施策に成果指標を設定することとしており、指標を設定する際には、施策を講じた結果として得られた成果となるアウトカム指標を設定することを原則としております。</p> <p>一方で、ご指摘のとおり、施策によってはアウトカム指標の計測が難しいことから、計測が可能なアウトプット指標をもって成果指標としているものがあります。</p> <p>こういったアウトプット指標をもって成果指標としている施策については、現計画の期間中は既存の指標の実績を継続管理しながら、必要に応じて、既存の指標を補完する形で目標達成の質を客観視できるようなデータ等を用いて検証を行うよう努めてまいります。</p> <p>また、今後、後期アクションプラン作成の際には、アウトカム指標とアウトプット指標の違いをしっかりと認識し、適切な成果指標を設定できるよう、改めて庁内における研修会等を実施してまいりたいと考えております。</p> <p>• 施策評価については、昨年度までは、施策の成果指標の達成度のみで評価しておりましたが、今年度からは、「施策を構成する事務事業全体の評価」を加味した「総合評価」とするよう見直しを行いました。今後、行政評価の結果をホームページで公開する際には、施策評価シートの評価の判定基準について説明した資料を併せて掲載するなど、わかりやすい行</p>	総合政策部 秘書政策課

		政評価とするために必要な対応を行ってまいります。	
--	--	--------------------------	--